



ぎふの木ネット協議会 メルマガ

お知らせ イベント情報 を発信します

ぎふの木ネット 協議会より

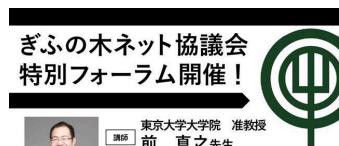
ぎふの木ネット協議会 特別フォーラムのご案内

ぎふの木ネット 年末特別フォーラム 日時：2025年12月4(木)13：15～17：00

講師：東京大学大学院 准教授 前 真之 先生
健康快適で電気代も安心な住まいを全ての人に
～木の良さを活かしてみんなの暮らしを豊かにしよう～
前先生より

学生時代より25年間以上、住宅の省エネルギーを研究。健康・快適で電気代の心配がない生活を太陽エネルギーで実現するエコハウスの実現と普及のための要素技術と設計手法の開発に取り組んでいます。

設計手法の開発に取り組んでいます。
住宅のエネルギーを専門に、2050年に日本中でみんなが
快適・健康に、再生可能エネルギーを中心に暮らせる、家造りの可能性を研究し
ています。



前 美之先生
健康快適で電気代も安心な住まいを

~木の良さを活かしてみんなの暮らしを豊かにしよう~

学生時代より20年間以上、住まいの省エネルギーを研究。健康・快適で電気代の心配がない生活を太陽エネルギーで実現するエコハウスの実現と普及のための要素技術と設計手法の開発に取り組む。

組んでいます。
住宅のエネルギーを専門に、2050年に日本中でみんなが快適・健康に、
生活できる社会を目指して、一緒に取り組むことを目的とした組織です。

云興株が父流でできるような
計画もしております。

日時 2025年12月4日(木)

13:15~17:00(受付12:30~)

場所 岐阜ソフトハル 西館2F「雪の間」
〒502-8567 岐阜県岐阜市長良648
☎ 058-233-1111

FAX 058-371-3116

FAX
送信先 056-271-3116
(ぎふの木ネット協議会 事務局 深谷)

参加 欠席

貴社名

乙氏名	

メールアドレス

 ぎふの木ネット協議会 岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3 (ヤマガタヤ産業株式会社内)
TEL: 058-271-3111 E-mail: info@gifunoki.net

10 - 二維性 / 雙面性

りの可能性を研究し

卷之三

前先生の講演テーマに合わせた各メーカーのブース展示や、様々な協議会メンバーとの交流の場となるような企画も考えています。
こんな出会いを求めていますという希望を事務局までお知らせください。
貴重なお話が聞ける機会ですので、是非ご参加ください。

会場：岐阜グランドホテル
西館2F「雪の間」
〒502-8567 岐阜県岐阜市長良648
☎ 058-233-1111
お申込みは、
FAX・メール・Googleフォームにて。
[Googleフォームにてお申し込みはこちら](#)

補助金情報

全国木材組合連合会より、「花粉症対策木材利用促進事業の公募」についてお知らせが届きました。



花粉症対策として、
住宅分野においてスギJAS構造材等の利用を図るための
取組を支援します。

詳しくは[こちら](#)⇒[全国木材組合連合会ホームページ](#)をご確認ください。

住宅ローン情報

住宅金融支援機構から全期間固定金利の住宅ローン【フラット35】についてのお知らせが届きました。詳しくは下記のチラシにてご確認ください。



2025年7月

金融市場・住宅ローン市場関連情報



ぎふの木ネットのコンセプトブックが新しくなりました。

お施主様等に配布をご希望の場合は、事務局まで連絡ください。



この冊子には、ぎふの木ネットがどういった活動をしているか、また木材の良さやメリットなどの情報が盛りだくさんです。

お施主様に配布できる場面があればぜひ活用してください。

コンセントブックは[こちらから](#)



会員様のイベント情報を募集します。

オープンハウスなどのイベントの予定がある場合は、事務局にお知らせください。
タイミングが合えば、ぜひ取材に行かせていただきたいです。
取材した内容はサイト上にてご紹介させていただきます。
ご紹介サイトは[こちら](#)

吉田会長からのメッセージ



Stop 地球温暖化! 私達にできる事… (後編)

(これから新たな脅威が?)

蚊が媒介するウイルス性疾患のチクングニア熱に世界が警戒を強めている。今夏中国では7,000人以上の感染が報告された。今迄は主にアフリカや南アジアが中心とされてきたが、温暖化により、南米を含め感染地域が広がっています。症状は突然の高熱から始まり、激しい関接痛がある事も特徴の1つです。問題は日本でも近年流行のリスクが高まっていることがあります。アジア地域に分布するヒトスジシマカという別の蚊にも寄生し感染地域が広がっており、



この蚊の定着条件は、年間平均気温が11℃以上とされており、温暖化が進んで生息域は青森県まで広がってきております。チクングニア熱の流行を防ぐ為にも地球温暖化の解決に向けた動きが必要です。

そして日本の海が枯れていく…

コンブ生産量	約33.000t→約8.500t(1989年→2024年)
マコンブ生産量	約4.800t→約340t (1992年→2023年)
アマモ場面積	約70%減(1960年→1990年)
藻場面積	約320kha→約150kha(1990年→2022年)
CO2吸収・貯留量	約600ktCO2→約350kICO2 日本近海(1990年→2022年)

磯焼けが進む日本の海で、今この瞬間に藻場が消失しています。温暖化などが原因で日本では藻場の消失に歯止めがかかりません。それにより藻場を住みかとする小魚が減り中・大型魚が寄りつけず、漁獲量が大きく落ち込んだり海のCO2吸収量が低下するなど暮らしに大きなダメージを与えています。



しかし今世界は・・・温暖化対策しぶる機運



温暖化ガス排出に向けた世界の動きが鈍くなっています。国連の国際枠組みが義務づける新たな削減目標は、8割以上の国・地域が未提出のままです。トランプ米政権の発足で脱炭素化への機運がしぶんでいます。このままでは今度ブラジルで開幕する国連気候変動枠組み条約第30回締約国会議(COP30)での議論も空転しかねません。

パリ協定の加盟国は5年ごとに排出削減目標を策定し提出する事が義務づけられており、日本は35年度時点で13年比60%、40年度時点で73%の削減を目指す目標を定めています。

現在時点で35年度の削減目標を提出したのは日本・英国・カナダなど28ヶ国にとどまっており、8割以上がまだ提出されていない。

トランプ政権は発足初日にパリ協定からの離脱を決め脱炭素化に逆行する政策を重ねています。

ネットゼロバンキングアライアンスの行先は?

これは2050年迄に銀行の融資、投資ポートフォリオの温室効果ガス排出量をネットゼロにする事を目指す2021年に設立された国際的な金融機関の組織で、パリ協定の目標と整合する気候対策を推進することを目的としていました。

当初、米国・日本・EUの主だった金融機関がこぞって参加しておりましたが、米国共和党を中心とする反ESG運動により、ネットゼロ・バンキング・アライアンスに加盟する事が政治的リスクと見なされる様になりました。

米国ではメガバンク (JPモルガン・チエース・バンクオブアメリカ等)のほとんど、そして日本も(三菱UFJ・三井住友・野村ホールディングス等)大手のほとんどが脱退し、欧州の金融機関中心の組織となっています。

この様に政治の変化により、根本的基本政策が変わっていくのが現実であり、私達も確固なる信念が問われています。



CO2の地下貯留→千葉沖へ

経産省は千葉県沖にCO2の地下貯留に乗り出します。京葉工業地帯からの排出の受け皿にする予定で、2050年温暖ガス排出を実質ゼロとする日本の目標に欠かせないとしています。先行して実証事業が進む北海道苫小牧沖に次いで2ヶ所目となる最大500万tの貯留を目指しているが、これは200万世帯分の年間排出量に相当します。

しかし現在コスト的にはCCS(二酸化炭素回収貯留)にかかる費用を参考にすると13万円から20万円/t位かかると考えられます。軽く1,000億規模となってしまいます。



まとめ…………私なりの提言



現在は一旦脱炭素化に向け世界がまとまりかけた方向性が、特朗普政権の誕生により政策や価値感の混乱が生じています。

米国・EU・中国・インド等それぞれの国の事情で大きな差があります。しかしこのままでは世界が決して望ましい方向に向かっていっているわけではない事は、まちがいありません。自分達だけ良ければ、今さえ良ければ、そんなポピュリズム的な流れに乗って将来を担う人々に大きな負債を残していくのかという思いが募ります。

そこで私なりの提言

- 伐って、使って、植えて、育てるこのサイクルの高速回転
→ CO2の吸収力の再成
- 住宅だけでなくあらゆる空間の木質化
→ CO2の固定化(CCSよりはるかに安上がり)
- 再生可能エネルギー利用でエネルギー消費ゼロに向けた住まいの建設促進
→ 排出エネルギーの削減、健康寿命の伸長
- 断熱リフォームの推進
→ 熱中症予防や排出エネルギーの削減

- V2Hの促進
→災害時も含めた対策
- 効率的な物流対策
→配送時のCO₂を削減

できる事は山ほどあります。

皆様と共にパワフルでスピーディーな実行に向けて努力致します。是非ご一緒に!!

Back Number



過去のメールマガジンはこちら

NEWS



新着情報はコチラ

正しく表示されない場合は[こちら](#)

このメールは、ぎふの木ネットからのメール配信をご希望された方に送信しております。今後も引き続きメールの受信を希望される方は[こちらをクリック](#)してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます。](#)

本メールは yamagataya_s_info@ymg-s.co.jp より greenhome@ymg-s.co.jp 宛に送信しております。

みやまち ヤマガタヤ産業内, 羽島郡岐南町, 岐阜県 501-6019, Japan

✓認証 購読停止 [配信停止](#) | [登録情報更新](#)

